

ぎょうむそくほう 【ダイジェスト】

No.710

2026年6月9日

東海旅客鉄道労働組合

<https://www.jrtu.jp>



「ハートフルカンパニービジョン ⇒2027」の取り組み推進!

Japan-Railway-Ikai-Workers-UNION / Japan-Railway-Ikai-Workers-UNION / Japan-Railway-Ikai-Workers-UNION

業務委員会を開催

総支部総対話で寄せられた意見に基づき議論

Japan-Railway-Ikai-Workers-UNION / Japan-Railway-Ikai-Workers-UNION / Japan-Railway-Ikai-Workers-UNION

6月9日、申第15号「全職場総対話行動で寄せられた総支部組合員の提言」に基づき業務委員会を開催し、会社と議論を展開した。

業務委員会では、東京総支部、名古屋総支部、病院総支部の各執行委員長が参画し、この間の継続課題をはじめ、職場の実態に即した改善要望等について、詳細にわたって議論を展開した。

議論では、**出張時の宿泊限度額の引き上げや高度な技術を持つ組合員の処遇改善、若手層を対象とした帰省交通費の補助制度の新設**を求めた。

中央新幹線については、**組織改正後も業務効率化に資する業務のプロセスの見直しを継続的に行っていくとともに、引き続き適切に要員を配置していく考え**が示された。

名古屋セントラル病院については、**看護部管理者を対象としたカスハラ対応研修の実施や、院内でカスハラ事象を共有・議論する仕組みを構築**したこと等を確認した。

その他、硬式野球クラブでは、地域貢献や新たなファン獲得に向けて、地域の小・中学校を対象とした野球教室を昨年度大幅に拡大して実施しており、引き続き適切な支援を行っていくことを確認した。

さらに、出張時における取扱いや、中央新幹線建設に携わる組合員の諸労働条件改善、効率的な業務執行体制の構築、名古屋セントラル病院における診療報酬改正への対応など、組合員から寄せられた意見・要望に基づく主張を展開した。

今後も、各種課題の改善に向け、広範な議論を展開していく。

【主な議論内容】（○部分は、現時点において前進を確認した事項）

○共通事項

出張時における宿泊箇所の取扱い、柔軟な出張
高度な技術を持つ組合員への処遇改善、住宅入居条件改正
若手社員に対する交通費補助、組合活動の環境整備

・新たな組織体制に即して業務の効率化にも資する決裁権限のあり方となるよう検討していることを確認。

○東京・名古屋総支部関連

- ・中央新幹線関係 中央新幹線職場の組織再編によるプロジェクト管理機能の強化
適正な人員配置、**決裁権限の委譲**、効率的な業務執行体制
山間地区勤務の組合員へさらなる支援、モチベーション・心理的安全性の向上
- ・本社部門関係 効率的な業務執行体制の構築、野球部の後援について

○病院総支部関連

- ・医療共通 医療職社員のキャリアプラン
- ・病院関係 診療報酬制度改正への対応、慢性的な要員不足・医療DX
ペイシェントハラスメント防止、手術室等医療職の環境改善
中央放射線室での宿直・日直の取扱い
- ・健管セ関係 保健長配置、健康診断勤務化・常設化、特定保健指導の環境改善

・カスハラ事象の共有化を目的に、院内既存の「患者サービス委員会」にて、カスハラに関して議論する仕組みを構築したことを確認。

※議論内容の詳細については、後日発行の「ぎょうむそくほう」をご確認ください。